

# 平成26年【第4回】 「いわて復興ウォッチャー調査」結果報告

## 1 目的

東日本大震災津波からの復興状況を定期的に把握するため、被災地域において復興の動きを観察できる立場にある方々の協力を得て、復興感に関する調査を四半期(3ヶ月)に1回実施する。

## 2 調査の概要

### (1) 調査対象

岩手県の沿岸12市町村に居住又は就労している方 153名

※原則として、毎回同じ方を対象に調査を実施

### (2) 調査方法

郵送法(郵送による発送、返信用封筒による返送)

### (3) 調査対象時期

平成26年11月(次回調査は平成27年2月予定)

### (4) 調査項目

問1 被災者の生活の回復に対する実感 (生活の回復度、直近3ヶ月間の進捗状況)

問2 地域経済の回復に対する実感 (地域経済の回復度、直近3ヶ月間の進捗状況)

問3 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

(災害に強い安全なまちづくりの達成度、直近3ヶ月間の進捗状況)

### (5) 回収結果

有効回収率 83.0%(127名/153名) <前回 86.3%(平成26年8月調査)>

### (6) 回答者の属性

#### ①性別

| 性別 | 人数 | 割合    |
|----|----|-------|
| 男性 | 87 | 68.5% |
| 女性 | 40 | 31.5% |
| 不明 | 0  | 0.0%  |

#### ②地域別

| 地域   | 人数 | 割合    |
|------|----|-------|
| 沿岸北部 | 41 | 32.3% |
| 沿岸南部 | 86 | 67.7% |
| 不明   | 0  | 0.0%  |

#### ③年齢別

| 年齢別   | 人数 | 割合    |
|-------|----|-------|
| 39歳以下 | 21 | 16.5% |
| 40歳台  | 32 | 25.2% |
| 50歳台  | 46 | 36.2% |
| 60歳以上 | 28 | 22.0% |
| 不明    | 0  | 0.0%  |

#### ④住宅被害の有無

| 被災有無別 | 人数 | 割合    |
|-------|----|-------|
| 被災あり  | 72 | 56.7% |
| 被災なし  | 52 | 40.9% |
| 不明    | 3  | 2.4%  |

#### ⑤ 職業・所属等

- ・ 地域団体・郵便局関連(応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など) 50名(39.4%)
- ・ 教育・福祉施設関連(小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など) 37名(29.1%)
- ・ 産業・経済・雇用関連(漁業・農業従事者/就業支援員等雇用支援機関の関係者/金融機関の関係者など) 40名(31.5%)

#### ■参考■

○「回復度」「達成度」とは、発災以降における全体の回復状況についてお尋ねしています。

「進捗状況」とは、直近3ヶ月の進み具合についてお尋ねしています。

○沿岸北部とは、洋野町・久慈市・野田村・普代村・田野畑村・岩泉町の6市町村、  
沿岸南部とは、宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市の6市町です。

※ 調査結果の集計・分析にあたっては、岩手県立大学総合政策学部の協力を得て行っています。

※ 掲載する割合(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

### 3 調査結果の概要(1) 被災者の生活の回復に対する実感

○被災者の生活の回復度については、「回復した」「やや回復した」の合計が52.3%と前回（55.3%）を3.0ポイント下回り、「あまり回復していない」「回復していない」の合計は14.3%と前回（16.6%）を2.3ポイント下回った。

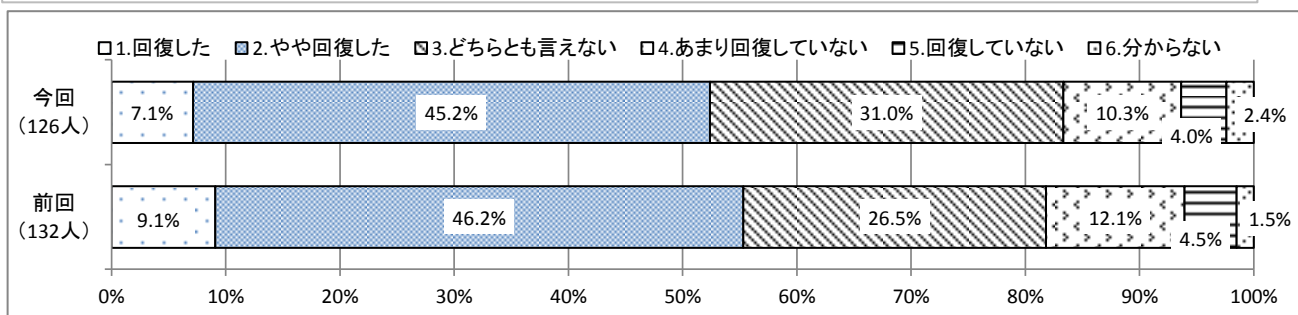
○地域別では、沿岸北部・沿岸南部ともに「やや回復した」の割合が最も高かった（沿岸北部52.5%、沿岸南部41.9%）。「回復した」「やや回復した」の合計は、沿岸北部で70.0%と前回（74.5%）を4.5ポイント下回り、沿岸南部では44.2%と前回（46.0%）を1.8ポイント下回った。

○直近3ヶ月の進捗状況を見ると、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が48.4%と前回（51.2%）を2.8ポイント下回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は16.7%と前回（19.1%）を2.4ポイント下回った。

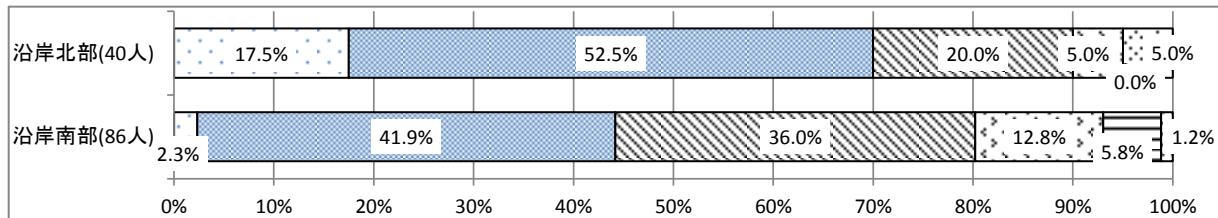
高台移転地の造成などが進んだという声がある一方、応急仮設住宅での生活の長期化による精神的な疲弊や住宅再建に向けた資金繰りを不安視する声もあった。

#### ① 被災者の生活の回復度(震災以降における全体の回復状況)

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、被災者の生活は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

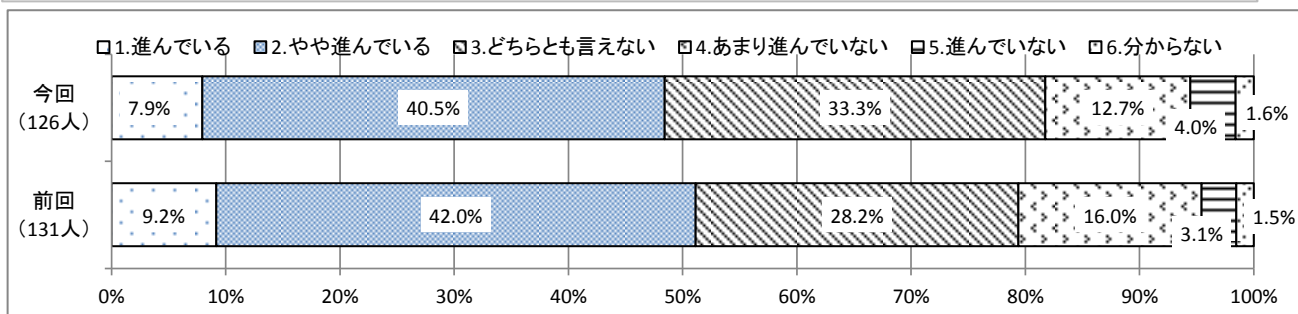


#### 地域別

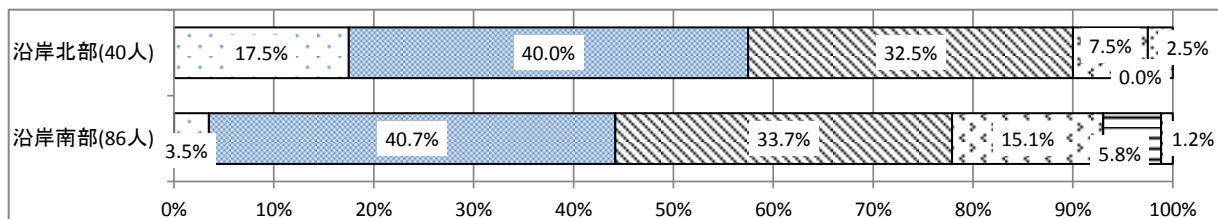


#### ② 直近3ヶ月間(概ね9月から11月まで)の進捗状況

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、最近の(3ヶ月間程度)被災者の生活の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( ) 内は回答者数を示す

③ 回復度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

| 区分   | 理由(要旨)   |
|--|--|
| 「1.回復した」<br>又は<br>「1.進んでいる」<br>の理由           | <p>◆以前よく耳にしていた、生活苦を耳にすることは減りました。安定してきていると感じます。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p>   |
| 「2.やや回復した」<br>又は<br>「2.やや進んでいる」<br>の理由       | <p>◆今では被災者と云う気持ちはありません。毎日の生活にも少し落ちつきが出て、手芸を習いに行き皆と話をし、楽しく暮らしております。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆高台移転などの土地造成が各地で進んでおり、町の中心地の被災地嵩上げ土盛り工事が目立つようになって来た。被災地外の宅地取得交渉が、部分的に遅れているのは今も変わらない。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆復興は着実に進んでいると思う。県立病院・消防庁舎等の建設も始まり、2年後のオープンを目指している。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆防集による一部の公営住宅への入居などが始まっていますが、用地取得率が平均66%、計画変更による宅地引渡予定日から更に遅れが。区画整理地区で4~6ヶ月、防集移転地区で2~16ヶ月との事。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆町のかさ上げは進んでいますが、私達の生活、例えば仮設住宅住まいなど、進展がないように感じます。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆高台移転先の造成地に新築の家が建ち並び、家々から明かりが見える光景は、未来に向けた準備が整ったと実感する。後は雇用がカギと思いますが、復興対策での一時的な雇用では、将来的に地域経済に与えるダメージは計り知れないと想定します。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆自宅を建てて引っ越す人がどんどん増えています。以前の生活より安心して生活できる場所に住めるのは良い事だなあ、と実感します。(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p> |
| 「3.どちらとも言えない」<br>の理由                         | <p>◆災害公営住宅が完成を迎える中、空室があると聞きます。住宅のみならず、店舗や会社がスプロール現象のごとく営業しているため、住環境の整備が周囲と歩調を合わせていかないと被災者の生活の回復は難しいと感じています。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆建築費の高騰等や土地取得が困難な状況により、再建が遅れている。ペットを飼って共に生活している人達は、被災前とは違って気を使い苦労しているようだ。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆コミュニティから離れたくなくて、防集移転に参加したものの、造成工事着手が見えてきた今、自宅再建に経済面から大きな不安を抱えている世帯がある。資材の値上がりや消費税など不安は増すばかり。非正規の人たちは、物価高や消費税アップなど生活は苦しくなっている。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆ガイドブックの配布等により、補助金制度や手続き等、分かりやすく周知された。しかし、まだ不安をかくせない人も多数いる。子どもたちにとっては、思うように遊べないストレスなど、つらい環境には変わりはない。(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆被災から生活を立て直そうと生き生きと働いている方々もいるが、特に高齢者の方々は未だに肩を落としているように見受けられる。高齢者の方々の笑顔を取り戻すのは難しいし、時間が必要なのだと思う。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)</p>  |
| 「4.あまり回復していない」<br>又は<br>「4.あまり進んでいない」<br>の理由 | <p>◆公営住宅へ入居する人もいるが、家賃を払いたくないからと仮設住宅に最後まで残るといふ声も多く聞こえるようになってきた。(40歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆諸経費高騰の一方、収入が回復していない為、所得が下がっていく。基盤の復旧が半ばで、まだまだ回復にはほど遠い。何を買いにも隣町まで燃料を消費しながらである。幹線道路の早期復旧が待たれる。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p>  |
| 「5.回復していない」<br>又は<br>「5.進んでいない」<br>の理由       | <p>◆最近仮設住宅から新居へ移動される世帯も増えてきたが、それはまだごく一部。仮設住宅入居から3年が過ぎ、健康面に影響が出始め、ストレスもピークになってきている。心のケアにも目をもっと向けて欲しい。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p>   |

注1)「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2)「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3)掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連：応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など  
 教育・福祉施設関連：小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など  
 産業・経済・雇用関連：漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

### 3 調査結果の概要(2) 地域経済の回復に対する実感

○地域経済の回復度については、「回復した」「やや回復した」の合計が52.0%と前回(51.9%)とほぼ同水準となり、「あまり回復していない」「回復していない」の合計は14.2%と前回(18.3%)を4.1ポイント下回った。

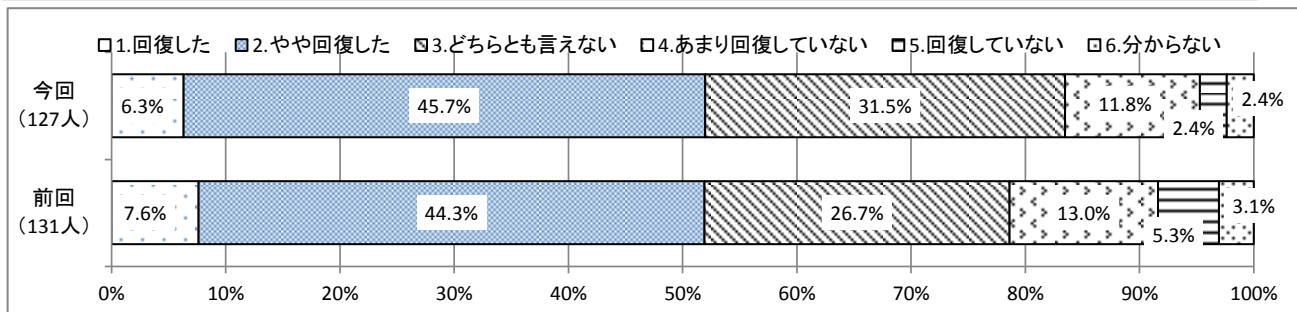
○地域別では、沿岸北部・沿岸南部ともに「やや回復した」の割合が最も高かった(沿岸北部46.3%、沿岸南部45.3%)。「回復した」「やや回復した」の合計は、沿岸北部で60.9%と前回(67.5%)を6.6ポイント下回り、沿岸南部では47.6%と前回(44.3%)を3.3ポイント上回った。

○直近3ヶ月の進捗状況を見ると、「進んだ」「やや進んだ」の合計が44.1%と前回(48.8%)を4.7ポイント下回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は18.1%と前回(16.8%)を1.3ポイント上回った。

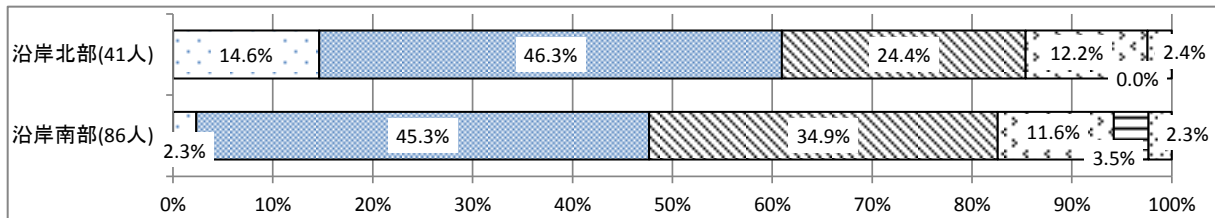
大型店や公共施設の周辺の活気や住宅建設を評価する声がある一方、人手不足を懸念する声や復興需要が終わった後を心配する声もあった。

#### ① 地域経済の回復度(震災以降における全体の回復状況)

【設問】あなたの周囲をご覧になって、地域経済は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

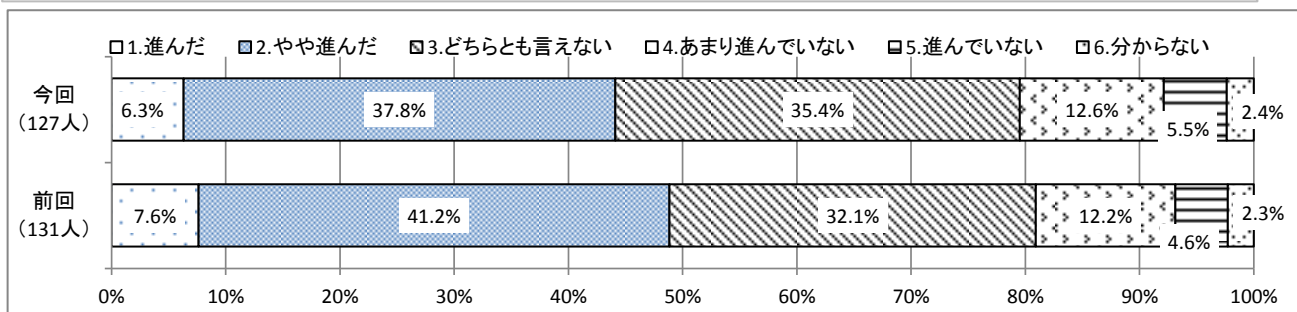


#### 地域別

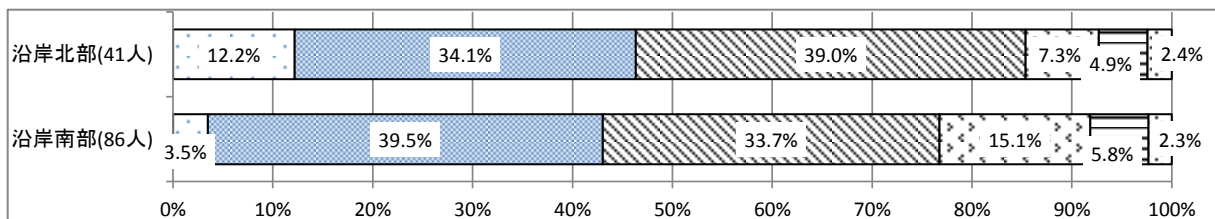


#### ② 直近3ヶ月間(概ね9月から11月まで)の進捗状況

【設問】あなたの周囲をご覧になって、最近の(3ヶ月程度)地域経済の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( )内は回答者数を示す

③ 回復度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

| 区分   | 理由(要旨)  |
|--|---|
| 「1.回復した」<br>又は<br>「1.進んだ」<br>の理由             | ◆浸水地域での農業は回復していないが、水産業の定置網、養殖漁業、漁船漁業は、再建希望した分はほぼ、回復したように見える。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)  |
| 「2.やや回復した」<br>又は<br>「2.やや進んだ」<br>の理由         | ◆大手スーパーマーケットやその周辺の集合店舗の開業により、活気が出てきた。「雇用のミスマッチ」は未だ続いている。人手不足により企業の稼働率の低下が目立つ。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)<br>◆有効求人倍率が2.01倍で深刻な人手不足状態にある。コンビニに朝8時半頃に寄ってみると、当日発売の雑誌類が本棚におさまらず床に置かれた状態、人が足りていない。建設業、老人介護施設、水産加工などで人手不足となっている。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)<br>◆盛土工事や復興道路の工事のため、人の流れが多くなり、現在は昼食時の食堂やコンビニは満室・満員の状態であるが、復興後の町はどうなるのか、そちらの方の心配もある。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)<br>◆磯漁業の収入も安定しつつあり、回復したと思うが、乾しいたけの単価はいぜんとして安く、やめていく生産者も少なくない。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、男性)<br>◆スーパー、病院など建ってから、周りには住宅が建てられて来ている。夜の電気の明るさを感じると、かなり復興して来ている様に思われる。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、女性)<br>◆商店街もやや活気がみえてきた。水産業(加工も含めて)もまずまずの稼働だと思われる。しかし、人手不足の原因は何だろう。賃金は高いのに働く心構えができていないとも聞かぬが…。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)<br>◆かさ上げがずいぶん進んだと思う。近くにコンビニもでき、買い物に不便を感じなくなった。また、ホテルや民宿も建ち、宿泊施設も増えた。海の幸を震災前のように食べられるようになった。(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性) |
| 「3.どちらとも言えない」<br>の理由                         | ◆他地域にはスーパーや大型ショッピングモールなどができて活気づいているようだが、そういう店ができない所はあまり変化を感じない。かえて、そういう地域へ出向いて消費してくるので、地域に貢献していない。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、女性)<br>◆事業所に対しての支援は色々あるようだが、地域経済が回復しているとは思えない。正社員の募集は建設か介護が大部分、中高年が働ける仕事はない。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)<br>◆水産業は順調な流れで進んでいる。災害公営住宅ができたが、月々の収入のある方でないと入居は厳しく、未だに空室がある。中心より遠くなると、高齢者には病院・買物等、出歩く都度、足代が大きな負担となる。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)<br>◆漁業関係は設備も復旧し、生産・加工等も活発になって来たように見受けられるが…。先日、内陸のボランティアの方々から支援物資を頂いた。秋刀魚と鮭のハンバーグ。工場の住所は内陸。複雑な気持ちでそのハンバーグを食した。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)<br>◆漁業については、各種補助制度を利用しての漁船や漁業関連施設の復旧はほぼ終了したが、燃油の高騰や人材(担い手)不足等の問題もあり、『物』は完成したが使えない状況になっている。(39歳以下、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、男性)<br>◆海岸周辺には水産加工業等の建物は整備され、実際、仕事も増えている。一見地域経済は回復している様に感じることもある。しかし、個人の生活に反映されている実感は少ない。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)   |
| 「4.あまり回復していない」<br>又は<br>「4.あまり進んでいない」<br>の理由 | ◆各種支援・復興需要により、活発な経済活動が続いているが、それらが終わったら、被災前より落ち込むのではないだろうか。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、男性)<br>◆小売店の販売は、業種にもよるが、減っている。地元拠点を残し、関東へ出て売上を作ろうとしている企業もある。また、減歩率がはっきりしない状況で商業地への換地を決めなければならず、新商業地へ移るのを断念した企業もある。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)   |
| 「5.回復していない」<br>又は<br>「5.進んでいない」<br>の理由       | ◆円が安くなりました。県産材を使用して住宅建設すると補助金も出ます。外材が高くなりますから、これから県産材の売込みをお願いしたいと思います。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)  |

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連: 応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など  
教育・福祉施設関連: 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など  
産業・経済・雇用関連: 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

### 3 調査結果の概要(3) 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

○安全なまちづくりの達成度については、「達成した」「やや達成した」の合計が28.8%と前回（25.4%）を3.4ポイント上回り、「あまり達成していない」「達成していない」の合計は34.4%と前回（45.4%）を11.0ポイント下回った。

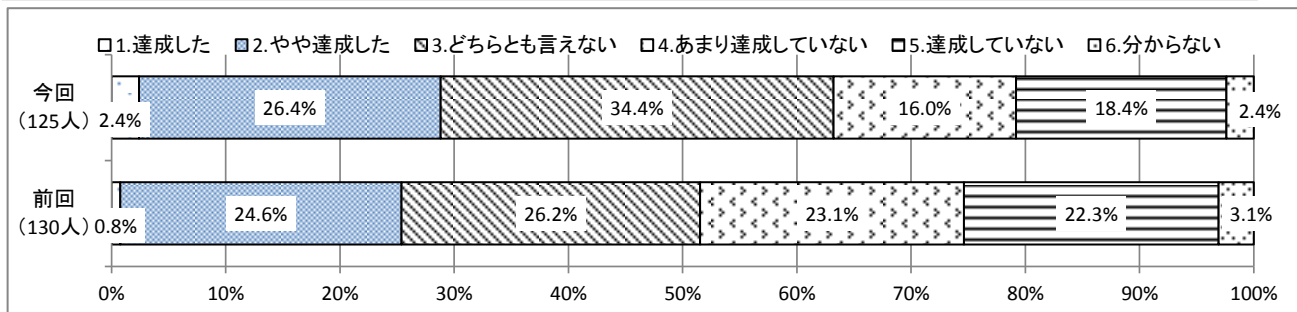
○地域別に見ると、沿岸北部では「やや達成した」が46.3%（前回は51.2%）と最も高く、沿岸南部では「どちらとも言えない」が40.5%（前回は31.0%）、「達成していない」が23.8%（前回は29.9%）と引き続き高い水準となった。

○直近3ヶ月の進捗状況を見ると、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が37.9%と前回（37.7%）とほぼ同水準となり、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は32.2%と前回（35.3%）を3.1ポイント下回った。

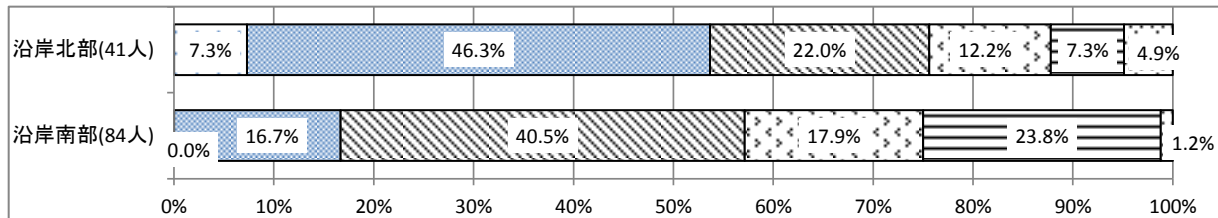
防潮堤工事の進捗を前向きに評価する声がある一方、防災意識の希薄化などを懸念する声もあった。

#### ① 災害に強い安全なまちづくりの達成度(震災以降における全体の達成状況)

【設問】あなたの周囲をご覧になって、災害に強い安全なまちづくりは、被災前と比べてどの程度達成したと感じますか？

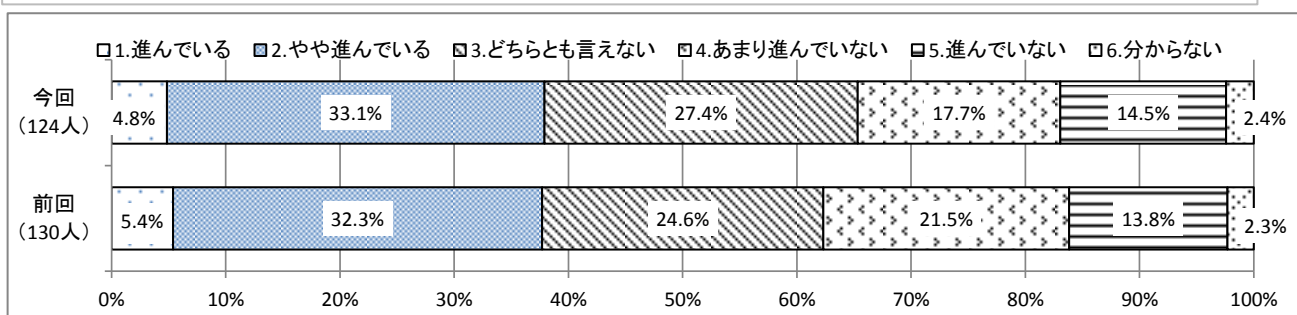


#### 地域別

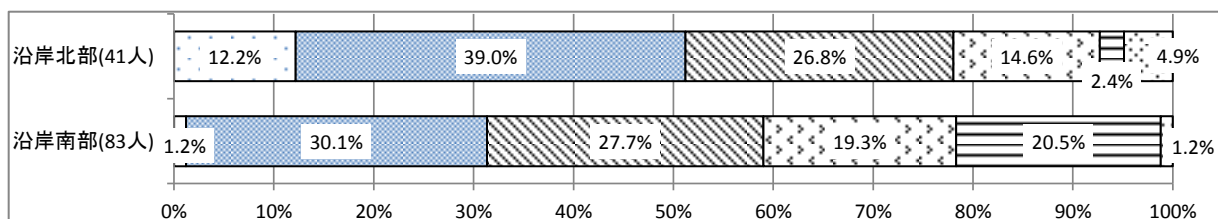


#### ② 直近3ヶ月間(概ね9月から11月まで)の進捗状況

【設問】あなたの周囲をご覧になって、最近の(3ヶ月程度)災害に強い安全なまちづくりの進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( ) 内は回答者数を示す



③ 達成度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

| 区分   | 理由(要旨)   |
|--|--|
| 「1.達成した」<br>又は<br>「1.進んでいる」<br>の理由           | <p>◆避難訓練や防災に関わるワークショップ等、安全意識を高めるイベントが多く開かれ、何度も回数を重ねたことで、住民の意識も変わってきた。嵩上げや防潮堤の建設も着々と進んでいる。以前の景色と変わるのには残念だが、安全性が向上したことの証とも言える。(39歳以下、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、男性)</p>   |
| 「2.やや達成した」<br>又は<br>「2.やや進んでいる」<br>の理由       | <p>◆防潮堤などの公共工事は着実に進んでいると感じる。下水道などの排水設備の工事は不十分だと思う。歩道の整備も不十分で、歩行しにくいところもある。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆生活道路は完成したが、災害が起きた時の避難所までの道路整備がまだである。早急に整備して欲しい。津波がまた来たら、孤立してしまう。(40歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆他県から働きに来ている方の宿舎がかなり多く建ってきています。かさ上げなど進んでいるように見えます。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆低い土地に土盛りをして、かさ上げが進んでいる。高台への避難路も表示等をして分かりやすくしている。海岸沿いを通らない道路も、トンネル工事が始まり、整備されてきた。一部道路も、山側に変更される工事が進んでいる。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆山付堤防や関連する河川堤防の工事が進んできており、進捗状況が私達にも見えるようになってきた。ただ、安全のためとはいえ、周りの景色との調和が非常に悪く、異様に見えるのは残念です。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸北部、男性)</p>  |
| 「3.どちらとも言えない」<br>の理由                         | <p>◆防潮堤等の整備や土盛り等の工事が進んでいるが、はたして巨額の費用を投下してどれだけの住人がもどってくるのか。生活は就業と切り離せないもので、その点も含め疑問視している方も多い。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆商業地域の土盛り工事や、被災地域宅地再建のための嵩上げ工事が進んできた。被災した地区の都市計画地域は、住宅建設が進み、大型店舗も進出した。にも関わらず、防潮堤の建設が進んでいない。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆防潮堤・防波堤の工事はすすんでいるようだ。ただ、係船する場所にこまっている。かさ上げも、そっちもやったりあっちもやったり、業者が別なのか、一方から進めてほしい。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆防潮堤のかさ上げ工事や道路工事は順調に進んでいる一方、住民の災害に対する意識は時間と共に顕著に薄れてきている。先日の防災避難訓練に参加した住民は半数以下だった。行政もいろいろな対策を講じてはいるが、時間とともに防災・減災に対する意識が薄れてきている。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p> <p>◆避難訓練や地域の集まりなど、積極的に参加する市民は決して多いとは言えない。各々の家庭内では、災害に対する心得など、良く話し合っている様子だが、それが地域となるとつながらず、意識が低い。(50歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> |
| 「4.あまり達成していない」<br>又は<br>「4.あまり進んでいない」<br>の理由 | <p>◆防潮堤の工事は進んでいますが、まだ防潮堤本体が見えてきません。また、河川の防潮堤工事は未着工であり、安心して住める環境ではなく、安心・安全なまちづくりを進めて欲しいです。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆防潮堤工事も徐々に進んでいると思うが、変更変更で時間がかかり過ぎる感じがする。住宅の高台移転についても、場所も決定していないので、早期に着手・着工できるようお願いしたい。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆盛土が多くなってきたが、まだ市全体の何%にもなっていない。防潮堤も建設中、避難路もまだできない状況で回復しているとは言えない。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p>  |
| 「5.達成していない」<br>又は<br>「5.進んでいない」<br>の理由       | <p>◆公営住宅は早く4年後、高台も4年後。もっと大変なのが、嵩上げが4年後で更に土地区画整理に1年半～2年。問題もあるがグループ造成の方が早くなると思っている。規制するなら徹底してほしい。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆災害に強い安全なまちづくりと言っているが、この震災を生かしたまちづくりがされているとは思えない。今回の大震災を生かした安全で、かつ震災を忘れない、心とまる街を造るべきだと思う。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆一部では防潮堤の基礎部分らしいものが見えてきたが、そもそも防潮堤は全区域がつながって初めて防災機能が生まれる。相変わらず、高台の造成工事で排水機能が古いままなので、あふれる事がしょっちゅうです。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p>  |

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連: 応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など  
 教育・福祉施設関連: 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など  
 産業・経済・雇用関連: 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

平成26年【第4回】  
「いわて復興ウォッチャー調査」  
結果報告

発行

平成26年12月25日

岩手県

復興局 復興推進課

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10-1

電話(019)-629-6945

ホームページ：岩手県震災復興・復興の動き

<http://www.pref.iwate.jp/fukkounougoki/>